

融合って

何だろう？

多様性

オープン
イノベーション

社会
課題

複雑化した課題解決のためには、マルチステークホルダーが一体となり「融合」した取り組みが求められています。「コミュニケーションを取り」「連携して」と言いつつも、なかなか難しいことも事実ではないでしょうか。今回、融合して課題解決するとはどういうことかを解き明かすために、「融合」について様々な視点から意見を交わし、あいまいな「融合」を可視化してみたいと思います。多様性、オープンイノベーション、社会課題といったキーワードにピン！ときたら、ぜひご参加ください。

① パネルディスカッション



▶モデレーター

田柳 恵美子氏

公立はこだて未来大学 教授(知識社会学)



▶パネラー

中島 秀之氏

札幌市立大学 学長
(情報学・人工知能)



▶パネラー

中垣 俊之氏

北海道大学
電子科学研究所 教授
(生命知能学・粘菌研究)



▶パネラー

船戸 大輔氏

エンジニア
(株)アートフル代表取締役
(株)スマートルアー共同創業者

② トーク



▶ファシリテーター/ライブドローイング

林 匡宏氏

絵師・まちづくりコーディネーター

2021年

12月4日(土)

10:15~12:35

参加費無料

定員

リアル50名・オンライン100名

会場

EZO HUB SAPPORO
札幌市東区北8条東4丁目1-20



主催

チャレンジフィールド北海道
<http://challenge-field-hokkaido.jp/news/1611>

問合せ

ノーステック財団 産学連携支援部
011-708-6536 yugo@noastec.jp

① パネルディスカッション

様々なフィールドで「融合」を通じた実践を重ねてきたプロフェッショナルが登壇、それぞれの立場から融合についてディスカッションいただきます。



モデレーター: 田柳 恵美子氏 公立はこだて未来大学 社会連携センター 副センター長・教授

神奈川県生まれ。(株)ユー・ピー・ユーにてAIジャーナル、AI事典等の企画編集に携わった後、フリーランスで数多くの企業・研究機関・行政機関等のPRや出版の企画制作/コンサルティングに20年近く従事。2008年北陸先端科学技術大学院大学博士課程修了、博士(知識科学)。同年より公立はこだて未来大学。専門は知識社会学、地域イノベーション、スマートモビリティ。函館を拠点に地域をフィールドとした研究教育と社会連携に邁進中。



パネラー: 中島 秀之氏 札幌市立大学 学長

大学院生であった1978年に当時世界最高峰のAI研究者の集積であったMIT人工知能研究所に留学して以来、40年以上AIの研究を続けている。1983年東京大学情報工学専門課程修了(工学博士)。同年より日本のAI研究の最高峰であった電総研に入所。産総研サイバーアシスト研究センター長、公立はこだて未来大学学長、東京大学大学院情報理工学系研究科先端人工知能学教育寄付講座特任教授を経て2018年4月より現職。株式会社未来シェア取締役会長。2019年「情報化促進貢献個人等表彰」経済産業大臣賞を受賞。



パネラー: 中垣 俊之氏 北海道大学 電子科学研究所 教授

1989年北海道大学薬学研修科修士修了、製薬企業勤務の後退社。名古屋大学人間情報学研究科博士課程に入学、通信制高校非常勤講師を勤めながら、平成9年学術博士。理化学研究所を経て、平成12年北海道大学助教授、平成22年公立はこだて未来大学教授、平成25年北海道大学電子科学研究所教授、平成29年より令和2年まで同所長。専門は物理エソロジー。イグノーベル賞、NHK番組「爆笑問題の日本の教養」爆ノーベル賞など受賞。



パネラー: 船戸 大輔氏 エンジニア/㈱アートフル代表取締役、㈱スマートルアー共同創業者

1981年、北海道十勝生まれ。2007年公立はこだて未来大学システム情報科学科博士前期課程修了。2007年から2013年までフリーランスとしてウェブシステム構築・アプリ開発業務を行う。2013年、株式会社アートフルを設立。2014年から札幌国際芸術祭にテクニカルスタッフとして参加、以後SIAFラボのメンバーとして活動を継続しながらアートプロジェクトや展覧会などの多数の作品制作に関わる。2017年より、センサー搭載型ルアーによる新しい釣り体験を創出するスタートアップ『smartLure』に共同創業者として参画。

② トーク

パネルディスカッション登壇のプロフェッショナルに加え、いま現場で課題を感じていたり、解決に向けて動いていたりする方とトーク。その内容をライブドローイングで表現します。

▶ライブドローイングとは：様々な立場の意見をその場でイラスト化する手法のこと

トークの
参加者
募集中

詳しくはHPへ



ファシリテーター・ライブドローイング: 林 匡宏氏 絵師、まちづくりコーディネーター/博士(デザイン学)

1983年大阪府吹田市生まれ。札幌、江別、渋谷、広島など全国各地でまちづくりコーディネーターとして地域の将来ビジョンを計画・視覚化、ビジョン実現に向けまちづくり組織を立ち上げるなど仕組みづくりを専門とし、その他社会実験のプロデュース、ゲストハウスやコミュニティスペースなども経営。「ライブドローイング」を用い、地域・行政・企業・教育機関等をつなぎ、価値創造型のプラットフォームを設立・運営する。北海道江別市職員や東京都渋谷区公園等整備アドバイザーとしても活動。「さっぽろ下町づくり社」代表理事、高校生探究型プログラム「まなびまくり社」代表、コロナ禍のエンタメを追求する「あしたのしあたま」代表。ラグビー歴30年。

お知らせ

- ・本セミナーは、「超異分野学会北海道フォーラム2021」の1セッションとして実施します。同じ会場でポスター発表や様々なセッションが開催されていますので、ぜひお立ち寄りください。詳しくは→<https://hic.lne.st/conference/hokkaido2021/>
- ・本セミナーは、実施後にアーカイブ配信予定です。